



通信

みんなをつなぐ情報誌

2024年5月号 No. 367

編集・発行/いむた小児科

〒830-0037 久留米市諏訪野町 2284

☎ 0942-30-7611 fax 0942-30-7612

CONTENTS

- ☆はしかの感染が拡大
 - ☆車の事故/子どもの便秘
 - ☆野外で遊ぼう(文化センターバラ祭り)
 - ☆今月の診療予定/予防接種
- ホームページ: <https://www.imuta.com>

国内ではほとんど見られなくなったはしかですが、今の感染拡大は海外からの観光客や海外旅行した人が持ち込むケースが大半です。



今年に入り、はしか(麻疹)の患者数が急拡大しています。4月半ばの時点で236人と、前年比で3.6倍に。はしかは極めて感染力が強く、インフルエンザの約10倍の感染力があると言われます。そのため、同じ室内に保菌者(患者)がいるだけで空気感染してしまいます。バスや電車の中にははしかに感染した人がいると防ぎようがありません。

はしかの感染が急拡大



また、20~40代の人はワクチン接種が1回だったため、免疫が不十分とされています。これらの人がはしかに感染して拡大させる要因にもなっていると思われまます。

はしかの症状と予防

はしかは発熱や咳・鼻水などで始まるので風邪との見極めが難しく、直ぐにははしかと診断できない場合があります。口の中に白い斑点(コプリック斑)が見られたり、熱が下がった後に再び高熱が出て全身に発疹が現れるのは、はしか特有の症状。お子さんの様子をしっかりと観察して、疑わしいときは受診前に病院に電話しましょう。

対象年齢になったら早めにワクチン接種を

はしかの感染はワクチン接種で防げる病気です。1歳になったら早めに予防接種(ワクチン)を受けてください。

生後12~24か月未満の間に1回、小学校入学前に1回、の計2回の定期接種になります。期限を過ぎたら数千円~1万円ほどの自費接種になります。1歳、年長さんの間に必ず接種を済ませましょう。



免疫のない幼児がはしかに感染すると、約3割の人が脳炎や肺炎などの合併症を起こすと言われます。周りで流行がみられたらしっかりと感染予防をしましょう。

(5月のカレンダー)

日	月	火	水	木	金	土
					1 BCG	2
3 休	4 休	5 休	6 休	7 ★	8 BCG	9
10 休	11	12 ★	13 ★	14 ★	15 -	16
17 当	18	19 ★	20 ★	21 ★	22 BCG	23
24 31	25	26 ★	27 -	28 ★	29 BCG	30

★印(予防接種・乳幼児健診)

5月の当番医

- 3日/おおぶ小児科(諏訪野)
- 4日/田中地平小児科(津福)
- 5日/日吉いのう小児科(日吉)
- 6日/ひだか子どもクリニック(南)
- 10日/はるこどもクリニック(新合川)
- 17日/いむた小児科(諏訪野)
- 24日/きむらこどもクリニック(野中)
- 31日/つむらファミリークリニック(高良内)

(夜間休日: 聖マリア病院)

#8000(小児救急医療電話相談)

当院は診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。

【医療情報取得加算】

初診・再診 1点

※再診は3か月に1回

今月のお知らせ

- ◆17日(日曜)は当番医のため平常通りの時間帯で診療いたします。
- ◆15日(金)、27日(水)は健診出務の為、午後の診療は15:30頃(院長戻り次第)開始となります。ご了承ください。
- ◆乳幼児健診は火・水・木曜と、土曜(5月は9、23日)に行います。ご希望の方は予約をお願いします。

予防接種・健診

今は入学、学外実習や就職、海外留学などでは予防接種歴が必ず必要になります。この時に未接種だった場合、自費接種となり、多額のお金がかかります。予防接種は種類も多く、大変だし心配なこともあるかもしれません。でも、大きくならないから困らないように、公費で接種することをおすすめしています。不安や心配があるときは、ご相談ください。



INFORMATION

いむた小児科

院長 伊牟田富佐恵
(小児科専門医認定医)

診療受付: 月曜~土曜
8:30~12:00, 14:00~17:30
土曜 ~17:00

※予防接種のある日は
午後3時頃からの診療です。
休診日: 日曜・祝祭日



—事前にご予約ください—

☆予防接種
毎週、火・水・木・金
(14:00~15:00に実施)

☆乳幼児健診(個別)
毎週、火・水・木
土曜も月2回程行っています

他の日時もご相談ください。